三菱商事エナジーソリューションズ　よろこびがつなぐ世界へ KIRIN

キリンビール仙台工場への CO2 フリー電力供給を 2022 年より開始。三菱商事エナジーソリューションズの再生可能エネルギー電源活用で環境価値を創出。

2022 年 1 月 26 日

三菱商事エナジーソリューションズ株式会社（所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:岩﨑芳博、以下三菱商事エナジーソリューションズ）が出資・運営するMCPD合同会社（職務執行者：坂口雄一郎、後藤宏友）は、2022年4月より、キリンビール株式会社（所在地:東京都中野区、社長 堀口英樹、以下キリンビール）の仙台工場（所在地:宮城県仙台市、工場長:荒川辰也）に対し、三菱商事エナジーソリューションズが出資・運営する再生可能エネルギー発電所（太陽光発電所）にて発電された環境価値（トラッキング付非化石証書※）付きCO2フリー電力の供給を開始します。

これにより、キリンビールは、「RE100」（事業運営で使用するエネルギーを100%再生可能エネルギーで調達することを目的とする国際的イニシアチブ）にも適用可能な再生可能エネルギーにて仙台工場の電力需要をまかないます。これまで三菱商事エナジーソリューションズはキリンビールと連携し、同社工場で使用する燃料の重油からガスへの転換、高効率ヒートポンプの導入、排水処理設備から得られるバイオガスを利用した発電やPPAモデルによる自家消費型太陽光発電設備の導入を通じた再生可能エネルギーの活用など、同社の温室効果ガス削減に向けた

様々な取り組みを進めてきております。本件は今年８月より開始したキリンビール名古屋工場（所在地：愛知県清須市、工場長：千葉一弘）向け100％再生可能エネルギー由来の電力供給に続く、2工場目の取り組みとなります。

三菱商事エナジーソリューションズは、環境価値の高い電力の供給の拡大を通じて、環境意識の高いお客さまのニーズに応えつつ、お客さまと共に持続可能な開発目標（SDGs）やサステイナブルな事業モデルの実現を目指してまいります。

※非化石電源により発電された電気が持つ「非化石電源由来であることの価値」を証書の形で見える化したもの。小売電気事業者が非化石価値取引市場で調達して、需要家に販売する電気に活用することで温室効果ガス排出量の削減が認められている。